

2018年度（2018年4月1日から）連結損益計算書 2019年3月31日まで

明治安田生命保険相互会社
(単位:百万円)

科 目	金 額
経常収入	4,182,501
保険料等収入	3,081,385
資産運用収入	980,255
利息及び配当金等収入	872,291
有価証券売却益	16,595
有価証券償還益	76,949
為替差益	8,186
その他の運用収入	2,408
特別勘定資産運用益	3,824
その他の経常収入	120,860
経常費用	3,791,882
保険金等支払	2,424,510
保険金	725,847
年金	616,446
給付	523,719
解約返戻金	464,349
その他の返戻金等	94,147
責任準備金繰入額	465,714
支払準備金繰入額	13,631
責任準備金繰入額	451,985
社員配当金積立利息繰入額	97
資産運用費用	261,599
支払利息	33,866
金銭の信託運用損	183
有価証券売却損	39,925
有価証券評価損	17,893
有価証券償還損	5,075
金融派遣生商品費用	130,990
貸倒引当金繰入額	779
賃貸用不動産等減価償却費用	10,210
その他の運用費用	22,675
事業費用	468,136
その他の経常費用	171,920
経常利益	390,618
特別利益	2,758
固定資産等処分益	2,758
特別損失	136,852
固定資産等処分損失	1,590
減損損失	1,204
偶発損失引当金繰入額	0
価格変動準備金繰入額	131,553
不動産圧縮損	1,931
社会厚生事業増進助成金	565
その他の特別損失	6
税金等調整前当期純剰余	256,525
法人税及び住民税等	58,212
法人税等調整額	△32,673
法人税等合計	25,539
当期純剰余	230,985
非支配株主に帰属する当期純剰余	1,406
親会社に帰属する当期純剰余	229,579

連結損益計算書の注記

1. 当連結会計期間における減損損失に関する事項は、次のとおりであります。

(1) 資産のグルーピング方法

当社および一部の連結実質子会社は、保険事業等の用に供している不動産等については、保険事業等ごとに1つの資産グループとしております。また、保険事業等の用に供していない賃貸不動産等および遊休不動産等については、それぞれの物件ごとに1つの資産グループとしております。

(2) 減損損失の認識に至った経緯

一部の資産グループに著しい収益性の低下または時価の下落が見られたことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

(3) 減損損失を認識した資産グループと減損損失計上額の固定資産の種類ごとの内訳

用途	件数	減 損 損 失 (百万円)		
		土地	建物等	計
賃貸不動産等	1件	—	231	231
遊休不動産等	6件	692	280	972
合計	7件	692	511	1,204

(4) 回収可能価額の算定方法

回収可能価額は、賃貸不動産等については物件により使用価値または正味売却価額を、遊休不動産等については正味売却価額を適用しております。なお、使用価値については主に見積乖離リスクを反映させた将来キャッシュ・フローを1.90%で割引いて算定しております。また、正味売却価額については不動産鑑定評価基準に基づく鑑定評価額等から処分費用見込額を差し引いた価額、または公示価格等を基準にした評価額等をもとに算定しております。